

期間限定 デモ版

予約システム

インストールマニュアル

バージョン 2.3.0

LATTEWORKS

もくじ

1. このデモ版について
2. 動作環境
3. インストールの手順
4. はじめて使うとき
5. 基本の使いかた
6. ほかのパソコン・タブレットから使う(複数の端末で見る)
7. ご利用期間・もう一度使う・やめるとき
8. 利用許諾契約書について
9. うまくいかないとき

1. このデモ版について

「予約システム」は、診療所向けの予約台帳です。このデモ版は、**操作感や機能をお試しいただくための、期間限定の体験版**です。

最初の3日間	製品版と同じ、すべての機能をご利用いただけます(予約の登録・変更・取り消し、分析、印刷、設定など)。
3日が過ぎたあと	「閲覧のみ」になります。予約・患者・分析を見ることはできますが、登録・変更・印刷・CSV書き出し・設定の変更など、閲覧以外の機能はすべて止まります。
5日が過ぎたあと	完全に停止します(閲覧もできません)。
もう一度使いたいとき	もう一度インストールすると、新しく3日間、すべての機能が使えます(閲覧のみ・完全停止も、そこから数え直します)。ただし、前のデータはすべて削除されます(引き継がれません)。デモ用の架空のデータから、やり直しになります。
入っているデータ	架空の患者さん・架空の予約です(約1か月ぶん。台帳・分析・印刷を試せるようにしてあります)。
できないこと	電子カルテとの患者連携は使えません(製品版の機能です)。
複数の端末で見る	同じ院内ネットワーク(LAN)につながったパソコン・タブレットから、同時に見たり、操作したりできます(第6章)。
インストール先	C:\ProgramData\YoyakuDemo (このパソコンの全ユーザー共通)。インストールには 管理者権限 が必要です(第3章)。

実際の患者さんの個人情報、入力しないでください

このデモ版は、試用のためのものです。実際の患者さんの氏名・連絡先などは入力しないでください(利用許諾契約書でも、お願いしています)。

2. 動作環境

パソコン	Windows 10 / 11(64ビット)。メモリ 4GB 以上を推奨。
ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome(最新版)。
空き容量	約 300MB。
ネットワーク	インターネット接続は不要です。ほかの端末から使うときだけ、同じネットワーク (LAN)につながっている必要があります。
管理者権限	インストールとアンインストールのときに、必要です(ほかの端末から使うための、ファイアウォールの設定のため)。管理者のパスワードを求められることがあります。
その他	Node.js・データベースなどの別途インストールは不要です。

3. インストールの手順

- zip ファイルを「すべて展開」します
ダウンロードした `yoyaku-demo-v2.3.0-win-x64.zip` を右クリックし、「すべて展開」を選びます。展開先は、デスクトップやダウンロードなど、どこでも構いません。

zip の中から直接、実行しないでください

zip を開いたまま「Install.bat」をダブルクリックすると、必要なファイルが足りず、エラーになります。必ず先に「すべて展開」してください。

2

展開したフォルダの「Install.bat」をダブルクリックします

展開したフォルダの中に、次のファイルがあります。Install.bat を開きます。右クリックで「管理者として実行」にする必要はありません(自動で、管理者として実行し直します)。

Install.bat	インストールを始めます
yoyaku-demo.exe	本体(これを直接開く必要はありません)
public(フォルダ)	画面のファイル(消さないでください)
LICENSE.txt	利用許諾契約書
THIRD_PARTY_LICENSES.txt	同梱しているソフトウェア(Node.js)のライセンス
インストールマニュアル.pdf	このマニュアル

3

確認の画面が出たら「はい」を押します

「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」という確認(ユーザーアカウント制御)が出ます。「はい」を押してください。発行元が「不明」と表示されますが、電子署名をまだしていないためです。「いいえ」を押すと、インストールは中止されます。

また、次のような青い画面が出ることもあります。

「Windows によってPCが保護されました」

画面の「詳細情報」をクリックすると、「実行」ボタンが出ます。それをクリックしてください。

※ このファイルは LATTEWORKS が作成したものです。心当たりがない場合は、実行せずに、配布元へお問い合わせください。

4

利用許諾契約書を読んで、同意します

黒い画面(コマンドプロンプト)が開き、利用許諾契約書が表示されます。内容をお読みいただき、同意いただける場合は、y を入力して Enter キーを押します。同意いただけない場合は、インストールされません。契約書は、LICENSE.txt でも読めます(第8章)。

```
=====
予約システム デモ版 インストーラー v2.3.0
=====
```

```
インストール先: C:\ProgramData\YoyakuDemo
```

```
ご利用期間:      インストールから 3 日間は全機能、そのあと 5 日目までは閲覧のみ、5 日で完全に停止します
```

```
---- 利用許諾契約書 -----
(契約書の全文が表示されます)
```

```
-----
(契約書は、zip内の LICENSE.txt でも読めます)
```

```
上記の利用許諾契約書に同意して、インストールしますか? [y/N] y
```

5

インストールが始まります

同意すると、インストールが自動で進みます。

```
ファイルをコピーしています…  
デモデータ(架空の患者・予約)を作成しています…  
ファイアウォールの設定をしています…  
ショートカットを作成しています…  
  
インストールが完了しました。  
全機能のご利用: 2026/10/15 12:34:56 まで  
そのあとは閲覧のみ → 2026/10/17 12:34:56 に、完全に停止します  
起動: デスクトップの「予約システム デモ版」をダブルクリック  
※ 起動すると黒い画面が開きます。使っている間は閉じないでください(閉じると停止します)。  
※ 実際の患者さんの個人情報は、入力しないでください。  
  
いますぐ起動しますか? [Y/n]
```

Enter キーを押すと、そのまま起動します。

6

ファイアウォールは、自動で設定されます

インストーラーが、ほかの端末から使えるように、Windows ファイアウォールの許可を**自動で登録**します(プライベート・ドメイン・パブリックのすべてのネットワークの種類で有効ですが、許可されるのは、同じ院内ネットワーク(同じLAN)の端末からの、このデモ版の通信だけです)。起動のときに、許可の確認画面は出ません。アンインストールすると、この許可も取り消されます。

すでにインストールされているとき(もう一度インストールするとき)

契約書への同意のあと、黒い画面に「以前のデモ版が見つかりました。以前のデータは引き継がれません」と出ます。

Enter キーで進むと、前のものを削除して、新しいデモデータで作り直し、**新しく3日間**、すべての機能が使えるようになります。

起動中の場合は、自動的に終了させてからインストールします。

4. はじめて使うとき

1 起動する

デスクトップの「予約システム デモ版」をダブルクリックします(スタートメニューにもあります)。黒い画面が開き、しばらくするとブラウザで画面が開きます。

黒い画面は、閉じないでください

黒い画面は、システムの本体です。使っているあいだは、そのままにしておいてください(最小化はできます)。閉じると、システムが止まります。

2 管理者アカウントを作る(初回のみ)

「初期設定」の画面が出ます。ユーザー名(英数字)・表示名・パスワード(8文字以上)を入力して、「設定して開始」を押します。施設名は空のままでも構いません(デモの「サンプル内科クリニック」になります)。パスワードは、このデモ版の中だけで使うものです。

※ この最初の設定は、サーバーにしたパソコンのブラウザで行ってください(ほかの端末からは、できません)。

3 画面の上の帯で、残りの期間を確認できます

画面の上に「デモ版 — 架空のデータで動いています。全機能をご利用いただけるのは ○/○ ○:○ まで(あと ○日○時間)。そのあとは閲覧のみになります。」と、常に表示されます。期限の1日前からは、赤くなります。3日が過ぎると、灰色の「閲覧のみ」の表示(完全に停止する日時つき)に変わります。

5. 基本の使いかた

下の画面は、インストール直後の「予約台帳」です(サンプルの画像です)。

サンプル内科クリニック

予約台帳

患者

分析

設定

院長(管理者)

パスワード変更

ログアウト

◀

2026年10月7日(水)

今日

▶

今日

2026/10/07

📅

印刷

個別印刷...

	診察室1	診察室2	処置室	検査室	相談室
09:00	田中 健 終了 / ID:1029 / たなか けん	田中 一郎 終了 / ID:1027 / たなか いちろう / ワクチン			
09:30	高橋 一郎 終了 / ID:1021 / たかはし いちろう / 定期				佐藤 健 終了 / ID:1011 / さとう けん
10:00	伊藤 太郎 終了 / ID:1031 / いとう たらう			山田 愛 終了 / ID:1006 / やまだ あい	
10:30	伊藤 美咲 終了 / ID:1034 / いとう みさき	鈴木 美咲 終了 / ID:1016 / すずき みさき / ワクチン			山田 一郎 終了 / ID:1003 / やまだ いちろう / 説明 10:30~11:30
11:00	山田 美咲 終了 / ID:1004 / やまだ みさき / 薬の相談				
11:30				伊藤 花子 終了 / ID:1032 / いとう はなこ 11:30~12:30	
12:00					
12:30		山田 健 予約 / ID:1005 / やまだ けん / ワクチン			山田 太郎 来院 / ID:1001 / やまだ たらう
13:00					
13:30	高橋 花子 予約 / ID:1020 / たかはし はなこ / 血圧			高橋 愛 予約 / ID:1024 / たかはし あい / 採血 13:30~14:30	
14:00	中村 花子 予約 / ID:1044 / なかむら はなこ 14:00~15:00	田中 美咲 予約 / ID:1028 / たなか みさき / 再診			
14:30		佐藤 花子 予約 / ID:1008 / さとう はなこ		中村 太郎 予約 / ID:1043 / なかむら たらう	
15:00	伊藤 健 予約 / ID:1035 / いとう けん	佐藤 愛 予約 / ID:1012 / さとう あい / 初診			
15:30			田中 愛 予約 / ID:1030 / たなか あい	渡辺 太郎 予約 / ID:1037 / わたなべ たらう / 採血	
16:00	高橋 美咲 予約 / ID:1022 / たかはし みさき / 診断書	伊藤 愛 予約 / ID:1036 / いとう あい / 再診			鈴木 一郎 予約 / ID:1015 / すずき いちろう / 相談
16:30	佐藤 太郎 予約 / ID:1007 / さとう たらう			佐藤 一郎 予約 / ID:1009 / さとう いちろう	
17:00	田中 太郎 予約 / ID:1025 / たなか たらう / 定期 17:00~18:00	渡辺 愛 予約 / ID:1042 / わたなべ あい		渡辺 一郎 予約 / ID:1039 / わたなべ いちろう	
17:30					田中 花子 予約 / ID:1026 / たなか はなこ

予約

来院

終了

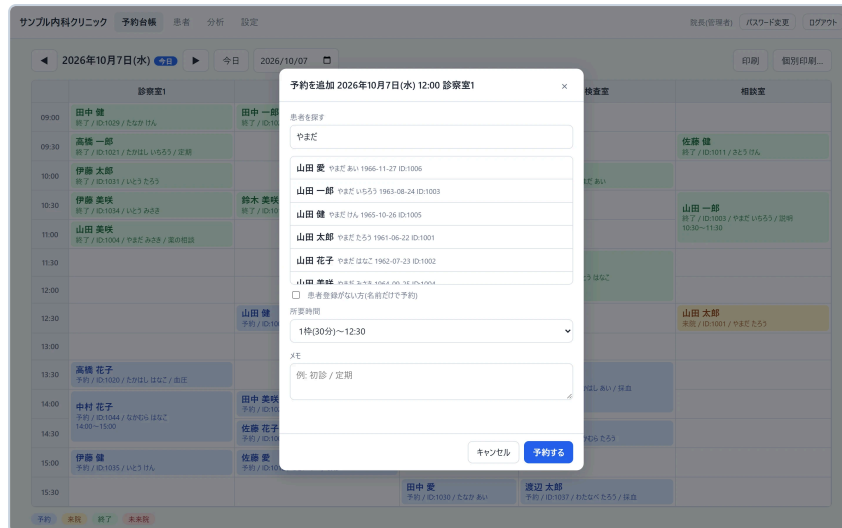
未来院

予約システム v2.0.0

予約台帳 — 診察室ごとの予約。空き枠をクリックして予約できます

予約を入れる

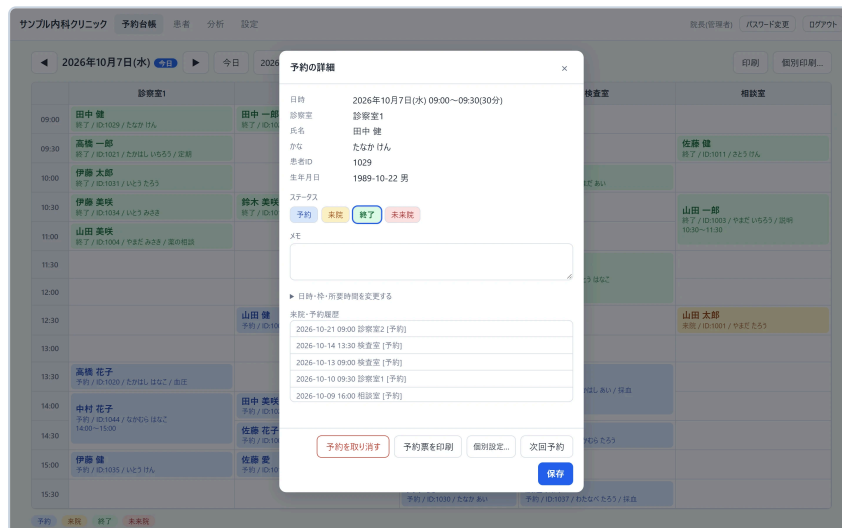
- 「予約台帳」で日付を選び、空き枠(+)をクリックします。
- 患者さんを、かなや氏名の一部で検索して選びます(電話などで名前だけの予約も入れられます)。
- 所要時間を選んで、「登録」します。



予約の作成 — かなで患者を検索し、所要時間を選びます

予約の確認・変更・取り消し・次回予約

予約をクリックすると詳細が開きます。来院・終了・未来院の記録、メモ、日時の変更、取り消し、「次回予約」ができます。



予約の詳細 — 状態の記録、変更、次回予約、患者の履歴

印刷する

- 予約台帳はA4で印刷できます(画面右上の「印刷」)。
- 予約の詳細の「予約票を印刷」で、患者さんにお渡しするA5の予約票を印刷できます。
- 向きなどの設定は、「設定」→「印刷」で決めておくと、毎回の質問なしで印刷できます。

サンプル内科クリニック	予 約 票
田中 健 様	
患者ID: 1029	
ご予約日時 2026年10月7日(水) 09:00 ~ 09:30 診察室: 診察室1 所要時間: 約30分	
今後の予約 • 2026年10月8日(木) 16:30 処置室 • 2026年10月9日(金) 16:00 相談室 • 2026年10月10日(土) 09:30 診察室1 • 2026年10月13日(火) 09:00 検査室 • 2026年10月14日(水) 13:30 検査室 • 2026年10月21日(水) 09:00 診察室2	
ご案内 診察券・保険証をお持ちください。 ご都合が悪くなった場合は、お早めにご連絡ください。	
発行: 2026/10/7 12:17:06	お問い合わせ: 00-0000-0000

A5の予約票

予約の長さ(枠数)の設定

「設定」→「基本設定」で、**新しい予約の、初期の長さ(枠数)**と、**次回予約で前回の予約と同じ長さ(枠数)**にするかどうかを、決められます(予約を入れるときに、その都度、変えることもできます)。

分析・患者・設定

- **分析**(管理者): 期間を選んで、予約数・来院率・曜日別・時間帯別の混み具合・診察室ごとの稼働などを見られます。CSVも書き出せます(最初の3日間)。
- **患者**: 患者さんの一覧・検索。
- **設定**(管理者): 診察時間、休診日・祝日、担当者(診察室)、ユーザー、印刷の設定(最初の3日間)。



分析レポート

CSVの「メモ」について

分析の「CSV書き出し」の「メモ」の列は、予約を入れるとき・変更するときの「メモ」欄に入力した内容です(デモのデータでは、「腹痛」「定期」などの例が入っています)。取り消した予約も、メモはそのまま残ります。

デモ版で触ってみるときのポイント

- ・今月の予約表(1日に何件も入っている日)で、混み具合や分析をしてみる
- ・休診日(日曜・祝日)に予約を入れようとして、確認が出るのを見る
- ・長い診察(複数枠にまたがる予約)を入れてみる
- ・予約票(A5)を印刷してみる

6. ほかのパソコン・タブレットから使う(複数の端末で見る)

デモ版を入れたパソコン(以下「サーバー」)のデータを、同じ院内ネットワーク(LAN)につながった、複数のパソコン・タブレットから、同時に見たり操作したりできます。どの端末からも、同じ予約表が表示されます。

ほかの端末には、何もインストールしません

デモ版をインストールするのは、サーバーにするパソコン1台だけです。受付のパソコン・タブレット・スマートフォンなど(クライアント)は、**ふだん使っているブラウザ**(Edge・Chrome・Safari など)で**アドレスを開く**だけです。クライアントで管理者を作る必要も、設定も、ありません。ユーザーは、サーバーで管理者が「設定」→「ユーザー」から追加し、どの端末からも、同じユーザー名とパスワードでログインします。予約や患者の情報は、すべてサーバーにあります。

1. サーバーで、デモ版を起動しておきます(黒い画面を開いたままにします)。ファイアウォールは、インストールのときに自動で設定済みです。
2. サーバーの黒い画面や、画面の「設定」→「患者連携・アクセスURL」に、**アクセスURL**(<http://> から始まるアドレス)が表示されます。
3. ほかの端末のブラウザで、**そのアドレスを、そのまま**(最後の数字まで)入力して開きます。
4. ログインして、ご利用ください(ユーザーは「設定」→「ユーザー」で追加できます)。

毎回アドレスを入力しなくて済むように(ショートカットを置く)

アドレスの入力は、最初の1回だけで済みます。各端末に、次のどれかを登録しておくと、あとは**アイコンをクリック**するだけです。

・**ショートカットのファイルを配る(おすすめ)**: サーバーの画面の「設定」→「患者連携・アクセスURL」で、アドレスの横の「**ショートカットを保存**」を押します。できた「予約システム.url」を、USBメモリ・共有フォルダなどで各パソコンにコピーし、**デスクトップに置くと、ダブルクリックで開けます**。

・**PC名のアドレスを使う**: 同じ画面に、サーバーの**PC名を使ったアドレス**(<http://PC名:>...)も表示されます。これで登録しておくと、サーバーのIPアドレスが変わっても、同じアドレスで開けます。ネットワークの設定によっては、PC名で開けないことがあります。そのときは、IPアドレスのほうをお使いください。iPhone・Mac では、PC名 `.local` のほうを使います。

・**ブラウザの機能を使う**: 開いたページを、ブラウザの「ブックマーク」や「ホームページ」に登録します。スマートフォン・タブレットは、共有メニューの「ホーム画面に追加」で、アプリのようなアイコンになります。

・サーバーのIPアドレスは、再起動などで変わることがあります。**ルーターで、サーバーのIPアドレスを固定**(DHCPの予約)しておくと、登録したアドレスを、ずっと使えます。導入のときに、設定しておくことをお勧めします。

スマートフォン・タブレットで開くとき

・アドレス欄に、黒い画面に表示されている**アドレスを、<http://> から最後の数字まで、すべて半角で入力**します(iPhone の Safari、Android の Chrome も同じです)。<http://> を付けないと、検索になってしまうことがあります。

・スマートフォンも、サーバーと**同じ Wi-Fi**につながります。モバイル回線(4G・5G)や、ゲスト用の Wi-Fi では、つながりません。

・「安全でない接続」などと表示されることがありますが、院内ネットワークの中の通信であり、そのまま使えます。

・毎回入力する手間を省くには、ブラウザの「ブックマーク」や、ホーム画面への追加をご利用ください。

・最初の管理者の登録は、サーバーのパソコンで行います(スマートフォンからは、できません)。

※ 同じパソコンで、デモ版と製品版を**同時に**起動することはできません。片方を終了してから、もう片方を起動してください。

つながらないときは

- ・サーバーが起動していて、黒い画面が開いているか確認してください。
- ・サーバーのネットワークの種類が「パブリック」でも、つながるように設定してあります(ネットワークの種類は、変更しなくて構いません)。
- ・セキュリティソフトが、通信を止めていないか確認してください。
- ・端末が、サーバーと同じネットワーク(同じ Wi-Fi・同じLAN)につながっているか確認してください。ゲスト用のWi-Fiや、別のネットワークからは、つながりません。
- ・黒い画面に、アドレスが**複数**表示されているときは、**192.168. や 10. で始まる、院内ネットワークのもの**を使ってください(「仮想のアダプタ」と書かれたものは、使いません)。アドレスは、最後の数字まで、そのまま入力してください。
- ・ルーターやWi-Fiの「端末間の通信を禁止する」(プライバシーセパレーター・AP分離)の設定が、有効になっていないか確認してください。

※ 閲覧のみの期間(3～5日目)も、複数の端末から見られます。ご利用期間・データは、サーバー側で管理されます。試用が終わったら、アンインストールしておくことをお勧めします。

7. ご利用期間・もう一度使う・やめるとき

ご利用期間

インストールから3日間	すべての機能が使えます。
3日が過ぎたあと	「閲覧のみ」になります。予約・患者・分析は見られますが、登録・変更・取り消し・印刷・CSV書き出し・設定の変更・パスワード変更などは、できなくなります(画面にも、そう表示されます)。
5日が過ぎたあと	完全に停止 します。画面には、終了の案内だけが出て、データも見られません。

期間の記録は、暗号化されたファイルに保存されています。書き換えたり、パソコンの日付を戻したりしても、期間は延びません(日付を戻したときは、日付を確認する案内が出て、使えなくなります)。

もう一度使いたいとき

展開したフォルダの `Install.bat` を、もう一度実行してください。新しく3日間、すべての機能が使えるようになります。**前のデータはすべて削除**されます(引き継がれません)。

やめるとき(アンインストール)

- スタートメニューの「予約システム デモ版」→「アンインストール」を実行します(またはインストール先の `Uninstall.bat`)。管理者としての実行の確認が出たら、「はい」を押します。
- 確認で `y` を入力して Enter を押します。
- データ・ショートカット・ファイアウォールの許可を含め、すべて削除されます。展開したフォルダ(zip の展開先)は、手で削除してください。

ファイルの場所

インストール先	<code>C:\ProgramData\YoyakuDemo</code> (隠しフォルダです。ショートカットから開いてください)
デモのデータ	インストール先の <code>data</code> フォルダ(架空のデータです)
利用許諾契約書	インストール先の <code>LICENSE.txt</code> (同梱ソフトのライセンスは <code>THIRD_PARTY_LICENSES.txt</code>)

8. 利用許諾契約書について

インストールの際に、**利用許諾契約書**が表示され、同意いただいた場合のみ、インストールされます。契約書は、zip の中とインストール先の `LICENSE.txt` (メモ帳で開けます)で、いつでも読めます。主な内容は、次のとおりです(必ず、契約書の全文をお読みください)。

- デモ版は、機能の評価・検証のための体験版です。最初の3日間は全機能、そのあと5日目までは閲覧のみ、5日で完全に停止します。再インストールすると、新しく3日間使えます(それまでのデータは削除されます)。
- 配布用のファイルを、第三者に渡したり、再配布・販売したりしないでください。同じ院内のネットワークの端末から使うことは、問題ありません。
- 実際の患者さんの個人情報を入力しないでください。デモ版は、データを外部へ送信しません。
- 解析・改変、利用期間の仕組みを回避する行為(日付の変更・ライセンスの書き換えなど)は、禁止です。
- 本ソフトウェアは現状のまま提供され、利用による損害について、著作権者は(故意・重大な過失を除き)責任を負いません。診療・業務での本番利用はお控えください。

9. うまくいかないとき

「Windows によってPCが保護されました」と出る	電子署名をしていないためです。「詳細情報」→「実行」を押してください。
ウイルス対策ソフトが止める・消す	署名のないプログラムを、警告するソフトがあります。配布元からいただいた zip であることを確認のうえ、ソフトの案内に沿って「許可」または「除外」してください。心当たりのないときは、実行しないでください。
「必要なファイル(public フォルダ)が見つかりません」	zip を「すべて展開」しないで実行しています。展開したフォルダの Install.bat を実行してください。
「利用許諾契約書が見つかりません」	同じく、zip を「すべて展開」してから、実行してください。
ブラウザが開かない	黒い画面に表示されている、アクセスURL(http:// から始まるアドレス)を、ブラウザで開いてください。
確認の画面で「いいえ」を押した・「管理者権限が必要です」と出る	インストールには、管理者権限が必要です。もう一度 Install.bat を実行して、確認の画面で「はい」を押してください。パソコンの管理者でない場合は、管理者の方をお願いしてください。
画面の上に「閲覧のみ」と出る	3日間の全機能のご利用期間が終わっています(5日目に完全に停止します)。もう一度 Install.bat を実行すると、新しく3日間使えます(データは初期化されます)。
「ご利用期間が終了しました」と出る	5日が過ぎて、完全に停止しています。もう一度 Install.bat を実行すると、新しく3日間、すべての機能が使えます(データは初期化されます)。
「パソコンの日付が...」と出る	パソコンの日付が過去に戻っています。日付と時刻を正しく直してから、開き直してください。
「ライセンス情報が...」と出る	ライセンスのファイルが壊れた・消えたときにします。もう一度 Install.bat を実行してください。
黒い画面の文字が化ける	Install.bat から実行してください(文字コードを自動で設定します)。

お問い合わせ

LATTEWORKS

メール: lw-hirai@latte-works.com

お問い合わせの際は、黒い画面の最初の数行(または画面の上の帯の表示)と、お困りの内容をお知らせいただくと助かります。